

使用上の注意

ご使用前にはよくお読みの上、必ずお守りください。

警告

- 容器で、口や鼻を覆わない。
 - ・窒息するおそれ。特にお子様が使用するときは、必ず保護者のもと十分に注意する。
- 乳幼児の手の届くところには置かない。
 - ・やけどやいたずらに注意する。けがなど危険。
- 異常の発生や症状の悪化を防ぐため、次の場合は使用しない。
 - ・アレルギー体質の方や肌が敏感な方。
 - ・当てる部位に骨折、傷、しびれ、腫れ、湿疹、かぶれなどの異常がある場合。
 - ・レイノー病(症候群)、その他の血管症性疾患、冷えに対する過敏症、局所の血液循環不良、神経障害のある方。
- 次のことを必ず守って正しく使用してください。
 - ・血行障害や凍傷 負傷事故を防ぐために、次のような使い方をしない。
 - ・就寝時の使用。
 - ・長時間、同一部位の冷却。
 - ・妊娠中または妊娠していると思われる場合。
 - ・容器および部品に摩耗、損傷のある場合。
- 使用中に次の異常が発生したら、ただちに使用を中止し、医師に相談してください。
 - ・あてる部位にけが、骨折、傷、痛み、しびれ、腫れ、湿疹、かぶれなどの異常が生じた場合。
- 沸騰したお湯をそのまま入れるのは危険です。絶対に入れないでください。

注意

- お湯を入れる際は、本体を傾けずにゆっくり注いでください。
- お湯を入れた場合、次の点を必ず守ってください。
 - ・傾けた状態、または顔を近づけた状態でふたを開けないでください。
 - ☆内圧が上がリ、内容物が急激に出たり、飛散したりしてやけど等の原因となります。
- 容器の保温・保冷以外に使用しないでください。
- 身体と同じ部分に長時間密着させて使用しないでください。
 - ☆やけど・低温やけどの原因となります。
- 火のそばに置いたり、ストーブやコンロ等の火気に近づけないでください。
 - ☆やけどや変形、変色の原因となります。

使用上の注意

ご使用前にはよくお読みの上、必ずお守りください。

●直火、電子レンジでは使用しないでください。

- ☆破損や変形、故障の原因となります。

●洗った後は、パッキンが正しく取り付けられている事を確認し、確実に閉めてください。

- ☆漏れて、やけどや物を汚す原因となります。

●ふたを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。

- ☆内容物があふれ出る原因となります。また漏れて、やけどや物を汚す原因となります。

●次のものは絶対に入れないでください。

- ・ドライアイス・炭酸飲料
 - ☆内圧が上がリ、ふたが開かなくなったり、飲み物が噴き出したり、ふたが破損して飛散することがあります。
- ・牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの
 - ☆腐敗や変質の原因となります。
- ・みそ汁・スープなど塩分を多く含んだもの
- ・お茶の葉・果肉

●内容物を入れた状態で長く放置しないでください。

- ☆腐敗や変質の原因となります。そのまま長く放置した場合、腐敗等によりガスが発生して内圧が上がリ、ふたが開かなくなったり、内容物が噴き出たり、ふたが破損して飛散することがあります。

●容器に水または氷水、お湯を入れる際は規定量以上に入れないでください。

- ☆漏れや、容器破損の原因となります。

●容器にお湯を入れる際は沸騰したお湯を入れないでください。少し冷ました80℃以下のお湯を入れてご使用ください。

●樹脂部に熱いやканなどをあてないでください。

- ☆転倒してやけどなどの原因になります。また 変形する原因となります。

●容器は横にしたり逆さにした状態で凍らせないでください。

- ☆漏れ・破損の原因となります。

●容器に氷を入れる場合は無理に押し込まないでください。また、角のとがった氷は入れないでください。

- ☆内面が傷つき、漏れ・破損の原因となります。角を砕くか、水を入れて氷の表面を滑らかにしてください。

●容器のせんを開閉する時は、容器部分を持って開閉しないでください。

- ☆破損の原因となります。口金の樹脂部を押さえるようにして開閉してください。

●容器のせんは確実に閉めて使用してください。容器およびせんの表面が結露する場合があります。他のものを濡らしてしまうことがあります。水や水を入れた状態で長く放置しないでください。

- ☆漏れや腐敗・変質の原因となります。

●パッキンが正しく取り付けられた状態で使用してください。

- ☆漏れや、衣類を汚す原因となりますのでご注意ください。

●真空ホルダーは冷凍庫に入れないでください。

- ☆故障・破損・事故の原因となります。

●持ち手を持って振り回したり、投げたりしないでください。

- ☆故障・破損・事故の原因となり危険です。

●落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。

- ☆変形・破損して、漏れや保温・保冷不良等の原因となります。また、ふたの破損の原因となります。

●お手入れの際、次の点を必ず守ってください。

- ・本体・ふた・パッキンは煮沸しないでください。
 - ☆熱により部品が変形し、漏れてやけどや物を汚す原因となります。
- ・食器洗浄乾燥機は使用しないでください。
 - ☆熱により部品が変形し、漏れてやけどや物を汚す原因となります。

●改造・分解・修理は絶対に行わないでください。

- ☆故障・事故の原因となります。

●バッグ等で持ち運ぶ時は横にしないでください。

- ☆バッグ等に入れる時は、漏れを防ぐために本体を上に向け、立てて置いてください。倒した状態や逆さで持ち運ばないでください。

●スマートフォン・パソコン・デジタルカメラ等の精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。

- ☆液漏れがあった場合、精密機器の破損の原因となる恐れがあります。

●運転中は危険ですので使用しないでください。

製品仕様

部品名	材料の種類
真空ホルダー	外びん ステンレス鋼
	内びん ステンレス鋼
容器ユニット	持ち手 ポリプロピレン
	せん ポリプロピレン
	せんパッキン シリコーンゴム
	フタパッキン シリコーンゴム
	口金 ポリプロピレン
容器	シリコーンゴム

部品の購入について

- ・交換部品は必ず当社の純正部品をご使用ください。
- ・ご購入はご購入先、または下記お問い合わせ先までご相談ください。

お問い合わせ

品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、ご不明な点がございましたら、ご使用にならずに、販売店またはお問い合わせフォームよりご相談ください。

Tamahashi

co., Ltd.

輸入販売元 株式会社 タマハシ

〒959-0141 新潟県南魚沼市南魚沼4-1-3

URL: <https://www.smile-king.co.jp>

E-mail: tamahashi@smile-king.co.jp

お問い合わせフォーム

※商品名、品番をご確認の上、ご連絡を頂きますようお願いいたします。

※交換・保守の際にお知らせ頂いた個人情報第三者に提供することはありません。

MADE IN CHINA

Cool&Warmエコスティック

家庭用

取扱説明書

品番:MC-965

このたびは当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。
ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みいただき、
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

各部の名称

ご使用前に、各部品がそろっていることを確認してください。

取扱説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

本体

外びん

内びん

真空ホルダー

容器ユニット

持ち手

せん

せんパッキン

フタパッキン

口金

容器

※ステンレス製真空二重構造です。
金属製のため、電子レンジでの加熱はしないでください。

182mm

使用方法

ご使用前に、P.6「お手入れ方法」をご確認の上、真空ホルダー・容器ユニットを十分に洗ってください。

1. 真空ホルダーから容器を取り外す

①フタを矢印の方向に回して容器ユニットを真空ホルダーから取り外してください。

②容器ユニットの口金を持ち、矢印の方向に回してフタを開けてください。

△ご使用前に

フタ・容器の内側を洗って清潔な状態にしてください。
洗浄後はパッキンを正しく取り付けてください。

2. 容器に水、氷水やお湯を入れる

水・氷水の規定量

※水の量は図の規定量までにする。
水、氷水を入れすぎてフタを閉めるとふきだしたり、水を入れすぎた状態で製氷すると、凍った水が膨張し容器の破損やフタがあかなくなる原因になります。入れすぎた場合は、規定量になるまで水、氷水を減らしてから、フタを閉めてください。

A) 容器に水を入れ、凍らせて使う場合

①容器に水を規定量まで入れ、せんを確実に閉めます。フタを閉める際は、口金を持って矢印の方向にまわって閉めてください。

- ※パッキンは必ず取りつけてください。

②容器を冷凍庫に入れて凍らせてください。

△注意

容器を横にしたり、逆さにした状態で凍らせないでください。

B) 氷水を入れて使う場合

①容器に入るサイズの氷を先に規定量まで入れ、次に水を入れてください。氷は角をくだか、水を入れながら氷の表面を滑らかにしてください。
フタを閉める際は、口金を持って矢印の方向にまわって閉めます。

- ※パッキンは必ず取りつけてください。

③お湯を入れて使う場合

C) お湯を入れて使う場合

お湯の規定量

お湯を容器の約2/3までゆっくり入れてご使用ください。

① 80℃以下のお湯を、容器に規定量までゆっくりと注ぎます。

②フタを閉める際は、口金を持って矢印の方向にまわって閉めます。
お湯が漏れないことを確認してください。

△注意

低温やけどは皮膚の深いところまで達することがあります。万が一低温やけど(皮膚の変化や痛み)が起きた時には、すぐに専門医の診断を受けてください。

お湯を入れてご使用する際は、長時間にわたり身体に密着して使用しないでください。

3. 真空ホルダーに容器を収納する

①氷水やお湯を入れた容器ユニットを真空ホルダーに収納する。

②フタを矢印の方向に回して閉める。

4. 使用例

Cool

Hot

真空ホルダーから取り出して冷やしたい部位にあてて使用してください。スティック状なので脇にも挟みやすく夏場の熱さ対策にご使用いただけます。

寒い時期の手指の温めにご使用いただけます。
お湯を入れて繰り返し使えるので環境に優しい。

パッキンの取り付け方・外し方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。

せんパッキン

取り外し方・・・せんパッキンを指でつまみ、引き上げて取り外してください。

- ※せんパッキンを破損しないようご注意ください。

取り付け方・・・せん中央にせんパッキンをはめこんでください。その後パッキンが浮かないように指でまんべんなく押し取り付けてください。

フタパッキン

取り外し方・・・切り欠き部につまようじなどを差込んで外してください。

- ※鋭利なものを使用すると破れる原因となります。注意して取り外してください。

取り付け方・・・容器内の水を長時間入れたままにしないでください。

Q&A

困ったときは、以下の項目をお確かめください。

不具合	確認事項	対処方法
フタから漏れた	フタがゆるんでいるませんか? 氷水やお湯を入れすぎていませんか?	フタが確実に閉まっているか確認してください。 フタの部品が正しく取り付けられているか確認してください。パッキンの取付位置や方向、浮きがないことを確認してください。
フタが開かない	内圧が上がっていませんか?	熱いものを入ると、内圧があがってフタが開きにくくなる場合があります。このような場合、無理に開けようとせず、必ず立てた状態で布をあててゆっくりと開けてください。
保温(保冷)が効かない	氷水やお湯は十分な量が入っていますか?	容器に入れる水・氷水・お湯の量が少なすぎないか確認してください。十分な量の水・氷水・お湯を入れてください。 ※寒冷地など使用環境の厳しい状況では充分な保温効果が得られない場合があります。
真空ホルダー内びんが変色した	汚れが付着していませんか? 赤サビ状の斑点ではあいませんか? ザラザラしたものが付着していませんか?	汚れが付着している場合は食器用中性洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。 斑点状の赤いサビが付着している場合は、水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたるま満をホルダー内に入れ、約30分後によく洗ってください。 ザラザラしたものが付着している場合は、水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を1～2%程度入れたるま満をホルダー内に入れ、約3時間後によく洗ってください。
臭いがする	汚れが付着していませんか? 容器内の水を長時間入れたままにいませんか?	使用後はきれいに洗い、充分に乾燥させてください。臭いがとれない場合は、お手入れ方法に従って漂白剤を使用してください。 容器内の水は使用後早めに捨ててください。
パッキンが変色した	汚れやカビが付着していませんか?	お手入れ方法に従って漂白剤を使用してください。汚れやカビが落ちない場合は廃棄し、新しいパッキンのご購入をお願い致します。

※パッキンは消耗品です。使用頻度にもよりますが使用後、半年から1年を目安にご確認ください。

お手入れ方法

いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

・ご使用後は、すぐにきれいに洗い、十分乾燥させてください。

・お手入れは、ぬるま湯ですすめた食器用中性洗剤を使用してください。

・汚れが落ちない場合は下表に従って台所用漂白剤（目安30分）を使用ください。

・長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさせて保管してください。

部品名	洗い方	お手入れ方法
容器ユニット	流水洗い つけ洗い 漂白剤	真空ホルダーから容器一式をはずし、フタ・容器・せんパッキン・フタパッキンをはずしてから、それぞれをきれいに洗い、水気を拭き取った後十分に乾燥させてください。 お手入れのあとは、せんパッキン・フタパッキンを正しい位置に確実に取り付けてください。
内びん	流水洗い つけ洗い 酸素系漂白剤 塩素系漂白剤	ボトルブラシやスポンジできれいに洗い、汚れを落とした後流水でよくすすぎ、水気を拭き取った後十分乾燥させてください。 △注意 酸素系漂白剤を使用する場合は、フタを取り付けしないでください。真空ホルダーの内圧が上がリ、フタが破損もしくは飛び出すなどして危険です。
外びん	流水洗い つけ洗い 漂白剤	きれいに洗い、よく振って水を切り、十分に乾いた布で水分を拭き取って、十分乾燥させてください。

お手入れ上の注意

お手入れの際は次の点を必ず守ってください。

・煮沸はしないでください。※熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

・食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。※熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。また塗装・印刷・シールなどはがれる原因になります。

・真空ホルダーは水中に放置しないでください。※さびや保温・保冷不良などの原因になります。

・シンナー・ベンジン・金風タワシ・みがき粉・クレンジャーは使用しないでください。

・さびや腐・保温・保冷不良などの原因になります。

・真空ホルダーは塩素系漂白剤を使用しないでください。※さびや保温・保冷不良などの原因になります。

・真空ホルダー外びんは漂白剤を使用しないでください。※塗装・印刷・シールなどはがれる原因になります。

6